

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和4年8月23日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	-----------	------	-----------------

※以下は令和4年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	株式会社 みなもとの郷		
代表者	代表取締役 内藤 潔		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2		
設立年月日	平成12年2月9日		
資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の地域振興を目的に市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。		
主な事業	(1)吉川スカイトピア遊ランドの管理運営 (2)吉川緑地等利用施設の管理運営 (3)吉川地域バス運行事業の運行業務受託 (4)吉川観光協会の事務受託 (5)尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	5	6	6	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	1	6	7	7	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	3	3	0
その他	26	26	0
計	29	29	0

5 事業実績（概要）

【第23期の経営状況】

- ・ 第23期の売上高は、前期と比較して9,416千円増（33.6%の増）の37,414千円となりました。新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、新潟県や上越市の宿泊キャンペーン等を積極的に活用した結果、宿泊者数が増えたことなどから売上高が増加しました。
- ・ 売上原価は、前期と比較して642千円減（8.3%減）の7,108千円となったほか、販売費及び一般管理費では、人件費や光熱水費が増加したことなどから、前期と比較して3,887千円増（12.2%の増）の35,623千円となりました。
- ・ この結果、最終的な当期純利益は859千円となり単年度黒字を計上したほか、第23期末における利益剰余金は295千円となりました。

【主な取組内容】

- ・ 新潟県の県民割キャンペーンや、市の宿泊割引キャンペーンなどを活用し、利用者の獲得にと取り組みました。
- ・ 4月には、尾神しだれ桜まつりを開催し、しだれ桜のライトアップや売店を設置し、地域の観光資源をPRしました。
- ・ 7月にはゲートボール大会を開催し、施設の利用促進に繋がりました。
- ・ 越後田舎他県事業や子供会等の体験を受け入れました。

【施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド

（単位：人）

		第21期	第22期	第23期
宿 泊		1,530	652	859
休 憩（食堂）		4,461	2,314	2,265
体験交流 センター	入館者 （入浴）	2,734	1,585	2,160
	体験者	489	27	153
小 計		9,214	4,578	5,437

- ・ 第23期の利用者数は5,437人となり、前期と比較して859人の増（18.8%の増）となりました。このうち、宿泊の利用者は859人となり、前期と比較して207人の増（31.7%の増）となりました。

○ 吉川緑地等利用施設

（単位：人）

		第21期	第22期	第23期
見はらし荘		454	556	357
スポーツスライド		580	665	493
小 計		1,034	1,221	850

- ・ 第23期の利用者数は850人となり、前期と比較して371人の減（30.4%の減）となりました。このうち、スポーツスライドの利用者数は493人となり、前期と比較して172人の減（25.9%の減）となりました。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 21 期	第 22 期	第 23 期
		自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	44,998	27,998	37,414
	売上原価	11,251	7,750	7,108
	売上総利益	33,747	20,248	30,306
	販売費及び 一般管理費	36,095	31,736	35,623
	営業利益	△2,347	△11,488	△5,317
	営業外収益	1,859	11,498	6,316
	営業外費用	0	0	0
	経常利益	△488	9	999
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	△488	9	999
	法人税等	70	70	140
	当期純利益	△558	△61	859
項 目		令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在	令和 4 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	13,301	11,950	13,689
	負 債	3,804	2,514	3,394
	純資産	9,497	9,436	10,295
	資本金	10,000	10,000	10,000
	利益剰余金	△503	△564	295
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	吉川スカイトピア遊ランド指定管理委託料	2,367	2,517	8,809	R3年度は見直し分の6,442千円を含む
②	吉川緑地等利用施設指定管理委託料	1,467	1,467	1,467	
③	吉川地域バス運行業務委託料	4,212	3,479	3,580	
計		8,046	7,463	13,856	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（補填金）	1,793	5,859	0	指定管理減収補填金
		257	178	193	シニアバスポート減免補填金
計		2,050	6,037	193	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

<p>【第24期事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業努力と経費削減に努めながら地域活性化を図る会社として、これまでと同様に主要事業であるスカイトピア遊ランドの管理運営業務をはじめ、諸事業の持続性を第一義に考えて取組を進める。 ・地域バスの運行業務、道の駅直売所の運営等に取り組むほか、スカイトピア遊ランドの運営においては、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上に貢献する。 ・スカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら、事業の継続化が図られるように取り組む。 ・コロナ禍に係る国・県・市の支援策等を積極的に活用するとともに、日常的に市との協議・連携を深め、事業の持続化に努める。
--

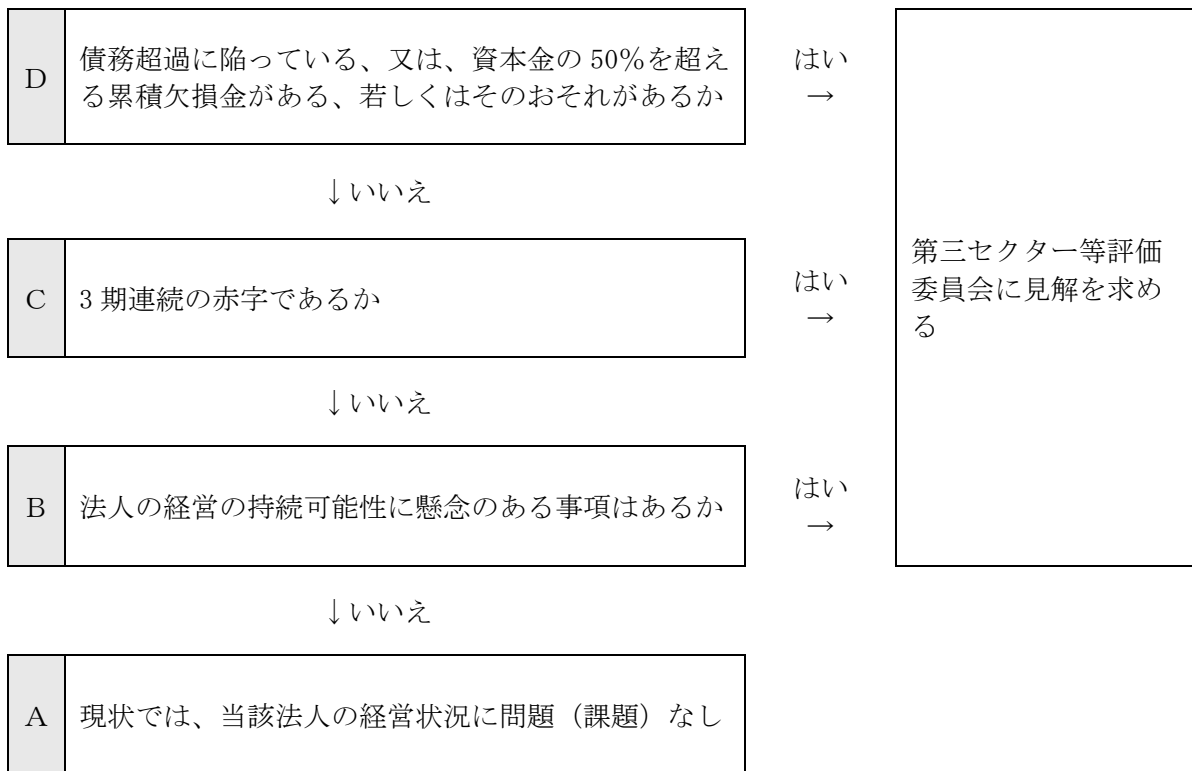
(2) 中長期経営計画

なし

9 令和4年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A
--------------	---

【特記事項】

第23期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

- (1) 当社は、上越市吉川区尾神岳観光エリアに位置する地域活性化拠点施設である中核的な吉川スカイトピア遊ランドの管理運営を主体として、吉川地域バスの運行業務やよしかわ道の駅における直売所の経営、尾神岳スカイスポーツエリアの管理運営、加えて吉川観光協会や水源地域振興対策協議会、尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊の事務局などを担い、地域の諸課題にも向き合い積極的に各種事業等を展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化に寄与することを重点目標とした経営に努めてきています。

特に山間地で積雪が多いという厳しい立地条件や交通アクセスにも恵まれず地域の過疎化と人口の高齢化が急速に進む中、役職員一丸となった営業努力と経費削減に取り組みながら安定経営を目指して頑張ってきています。

今冬も昨年の35年振り豪雪に続く大雪に見舞われて、冬期間のお客様が減少し、施設の維持管理に苦慮いたしました。

- (2) 新型コロナウイルス感染症問題は、年度末を迎えても一向に収束の兆しが見えない状況が続いています。

この問題は、当初から宿泊、飲食サービス業等を直撃してきたといわれていましたが、今では全国的に多くの関連業界も含めて経営苦境に立たされていることはご案内のとおりであります。

また、ロシアとウクライナの問題が勃発し、社会不安が一層高まりつつあり今後も注視して行く必要が生じています。

当社にとっても、都会方面からの宿泊客の減少や田舎体験事業の縮小、食事・宴会客の減少等々により経営を圧迫しています。

こうした中、国や県、市の支援策等を積極的に活用し前向きに取り組んで誘客に努めて参りました。

特に、市との協定に基づく協議を重ね指定管理料の変更をお願いするなどして経営の存続を第一義として当期の決算を見たところであります。

- (3) 取締役会の開催につきましては、課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、定期的な開催は行っていません。

当期は、前期株主総会以降昨年の6月30日、8月31日、12月27日と本年6月12日の4回開催いたしました。

- (4) ① 今期（令和3年度）の営業収益（売上高）は、37,413千円であり、前期営業収益（売上高）との比較では9,416千円の増（約33.6%の増）となりました。これは、令和3年6月から開始された「新潟県民割キャンペーン」と令和4年1月からスタートした「上越市宿泊割引キャンペーン」により利用客が増えたことに加え、上越市の指定管理料が増額されたことによるものとなっています。
- ② 営業費用は、こうした中であってもサービスの低下とにならないように人件費や水道光熱費等の抑制に努めたものの42,731千円となり、営業収益（売上高）を大きく上回る数値となり営業損失は5,317千円となってしまいました。
- ③ 当期は、(2)でも記述しましたがコロナ感染防止対策とされる国や県、市の給付金・補助金事業等に積極的に取り組み、雑収入が6,315千円と伸び、経常利益が998千円となり、税引後の当期純利益が858千円となったところであります。

決算報告書

(第 23 期)

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

株みなもとの郷

新潟県上越市吉川区坪野1458番地2

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

単位 円

	資 産 の 部	
【 流 動 資 産 】		
現金及び預金	2,254,855	
売掛金	472,140	
商品	1,026,553	
未収金	4,437,014	
仮払金	35,500	
	流動資産合計	8,226,062
【 固 定 資 産 】		
(有形固定資産)		
建物	2,246,326	
建物附属設備	957,585	
機械装置	44,728	
車両運搬具	1	
工具・器具・備品	1,903,410	
構築物	98,052	
	有形固定資産合計	5,250,102
(投資その他の資産)		
出資金	1,000	
	投資その他の資産合計	1,000
	固定資産合計	5,251,102
【 繰 延 資 産 】		
開業費	211,414	
	繰延資産合計	211,414
	資産の部合計	13,688,578
	負 債 の 部	
【 流 動 負 債 】		
買掛金	331,147	
未払費用	2,148,814	
未払法人税等	140,200	
未払消費税等	649,200	
預り金	124,580	
	流動負債合計	3,393,941
	負債の部合計	3,393,941
	純 資 産 の 部	
【 株 主 資 本 】		
(資 本 金)		
資本金	10,000,000	
	資本金合計	10,000,000

(利益剰余金)

繰越利益剰余金

	294,637	
利益剰余金合計	<u>294,637</u>	
株主資本合計		10,294,637
純資産の部合計		<u>10,294,637</u>
負債及び純資産の部合計		<u><u>13,688,578</u></u>

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

単位 円

【 純 売 上 高 】

売上1 (遊ランド)	29,783,261	
売上2 (見晴し・ホブス)	2,121,190	
売上3 (地域バス)	3,553,667	
売上4 (道の駅)	1,955,800	
	37,413,918	37,413,918

【 売 上 原 価 】

期首商品棚卸高	933,138	
仕入1 (一般)	6,723,257	
仕入4 (道の駅店)	478,363	
合 計	8,134,758	
期末商品棚卸高	1,026,553	7,108,205

売 上 総 利 益

30,305,713

【販売費及び一般管理費】

営 業 損 失

35,622,772

5,317,059

【 営 業 外 収 益 】

受 取 利 息	26	
雑 収 入	6,315,790	
	6,315,816	6,315,816

経 常 利 益

998,757

税 引 前 当 期 純 利 益

998,757

法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税

140,200

当 期 純 利 益

858,557

販売費及び一般管理費

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

単位 円

荷	造	運	賃		15,838
給	与	賃	金		22,981,155
法	定	福	利	費	1,083,426
福	利	厚	生	費	231,365
租	税	公	課		702,382
水	道	光	熱	費	4,407,255
通		信		費	488,245
広	告	宣	伝	費	84,050
接	待	交	際	費	38,250
損	害	保	險	料	163,340
修		繕		費	263,600
消	耗	品		費	1,181,211
減	価	償	却	費	600,961
支	払	手	数	料	403,074
車		両		費	927,463
リ	一	ス		料	64,800
諸		会		費	63,620
設	備	保		守	1,235,240
環	境	衛	生	費	581,252
雑				費	106,245

販売費及び一般管理費

35,622,772

株主資本等変動計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

単位 円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	10,000,000	△563,920	△563,920	9,436,080	9,436,080
当期変動額					
当期純損益金		858,557	858,557	858,557	858,557
当期変動額合計		858,557	858,557	858,557	858,557
当期末残高	10,000,000	294,637	294,637	10,294,637	10,294,637

個別注記表

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。

会計処理の原則又は手続の変更

消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

9,786,572円

監査報告書

第23期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和4年6月12日

株式会社みなもとの郷

監査役 中村久人



第 24 期 事業計画並びに収支計画について

株式会社 みなもとの郷

1. 当社の経営は、施設が山間地に存するという立地条件や行き止まりという交通条件の不便さ、加えて積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進む地域の中で、役職員の協力のもと営業努力と経費削減に努めながら地域活性化の中核会社と位置付け、これまでと同様にスカイトピア遊ランドの管理運営業務を主体として諸事業等の持続性を第一義に考えて進めて参ります。

2. 地域バスの運行業務、道の駅直売店の運営、吉川観光協会の業務、尾神岳スカイスポーツエリアの運営等々に加え、遊ランドが市の指定緊急避難場所とされていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、これまでの事業を参考に各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上に貢献して参ります。

また、吉川緑地等利用施設については、令和3年度をもって市の指定管理施設で無くなったところではありますが、スーパースライダーと見はらし荘については、尾神岳観光エリアとして必要な施設であるとして、市と協議の結果当社が必要に応じて管理運営をすることといたしました。夏休み期間や土・日曜日等の天候の良い日には尾神岳の賑いのためにも利活用を図っていきたくと考えています。

3. コロナ禍が収束していく中「新しい生活様式」がどう求められ、どう変わって行くかなどはまだまだ予想がつかない現状にあります。また、ロシアとウクライナの問題がどうなるかも不明で世界的に不安視だけが伝えられています。

こうした中ではありますが、中心施設のスカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら事業の継続化が図られるように取り組んで参ります。

個別の事業等については、事前に計画を立てるのが困難であり前期同様記載を割愛いたします。

4. 収支計画については、前期の実績等をベースとして希望的な数値で計画いたしました。いづれにしても、コロナ禍に係る国・県・市の支援策等を積極的に活用するとともに、地道にリピーターが戻ってくれることを願いながら、日常的に市との協議・連携を深め事業の持続化に努めて参ります。

第24期 収支計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(収入の部)

単位:千円

科目	本年度計画額	前年度計画額	増減	備考
利用料金	33,000	25,000	8,000	入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂、スライダー等の利用料金
受託料	14,187	7,463	6,724	指定管理者等受託料(遊ランド、地域バス)
雑収入	5,613	4,537	1,076	売店、自主事業等収入
合計	52,800	37,000	15,800	

(支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増減	備考
給料賃金	29,600	21,000	8,600	遊ランド、地域バス等
法定福利費	1,200	1,000	200	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	180	150	30	通勤手当、職員研修費
租税公課	950	600	350	法人税・住民税・消費税
諸会費	84	70	14	商工会費、食品衛生協会費等
仕入	8,000	6,500	1,500	
水道光熱費	5,200	3,200	2,000	水道、電気、ガス代
旅費交通費	20	15	5	
通信費	540	450	90	電話代、切手代等
広告宣伝費	100	30	70	広告掲載料、HP管理費等
接待交際費	56	40	16	
損害保険料	220	180	40	食中毒保険等
修繕費	480	400	80	施設・設備修繕料
消耗品費	1300	750	550	事務消耗品等
減価償却費	650	450	200	
車両掛費	1,100	800	300	車燃料代等
支払手数料	700	470	230	記帳指導料等
環境衛生費	700	380	320	ゴミ収集等
設備保守料	1,400	300	1,100	浄化槽、消防設備等
賃借料	90	75	15	車両、設備リース
雑費	150	80	70	テレビ受信料他
予備費	80	60	20	
合計	52,800	37,000	15,800	